

# 山田学区 社協だより

第 63 号

発行  
山田学区  
社会福祉協議会

## 新しい取り組み

### 山田学区 医療福祉を 考える会議

今年から山田学区の社協

でも、新しい取り組みを始めました。その一つは、「山田学区の医療福祉を考える会議」です。この会議は、厚労省が勧めている会議で「高齢者個人に対する支援の充



実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進め、地域包括ケアシステムの実現を図りましょう」というものです。

このため、草津市の地域包括支援センターを中心に、山田学区に係のある、医師、ケアマネージャー、介護サービス事業者、訪問介護等の専門職のみなさん、地域の代表者等が一堂に会し、地域の課



題を話し合い、共有し、その解決に向けた取り組みや、解決の糸口を見つけていきたいと思います。

せっかくこのような会議ですから、専門職のみならず、学区でもこれを積極的に利用し、町内会長を代表していただく方を初め、出来るだけの多くの地域のリーダーの参加を求め、地域の福祉に対する理解と広げていきたいと思います。このことが社協のキャッチフレーズ

### 山田の福祉を 考える会創設

「ひろがれやまだの和・環・話」が広がっていくと期待しています。  
なお、この会議は、息の長いもので、数年以上は続けていくものです。

もうひとつは、この山田の福祉を考える会の創設です。

平成二十三年度から草津市社会福祉協議会で、福祉活動推進員研修が実施されました、その修了者が本年度までに、山田学区で十五名を数えるに至りました。

この方々は、自分の意志で自ら研鑽された方々です。そして、自ら、地域の福祉活動には、個人の活動は当然ながら、団体になつて、皆で力を合わせれば、より大きな力を発揮できるとのコンセプトのもと、自らの発議でもって、「山田



の福祉を考える会」を設立していただきました。

当学区社協といたしましても、大いに期待しております、随時社協に提言をいただきたい。社協からも諮問させていただくこともあり、社協活動にもご協力をお願いさせていただきますと申し入れを行いました。山田の福祉を考える会の性格付けなどはこれから、その会自信で検討いただくこととなっておりますが、今後の活躍を期待しています。

# 人権研修



平成二十五年十一月二十九日(金)、福祉の土壌づくり事業のひとつとして、同推協と共催のもと、県外人権研修を実施しました。今年は大阪箕面市萱野中央

人権文化センターを訪れ、北芝まちづくり協議会の取り組みを学びました。学習の狙いとしては、すべての人が幸せに暮らせる人権を大切にしましたまちづく



りにどのように取り組んで行くべきかを考える機会です。地域活動の拠点として萱野人権文化センターが得意、「未知なる道」で暮らしづくりネットワーク北芝を設立され



その過程で国土交通省のモデル事業「ゆめ工房」プロジェクトを成功させ、北芝を核としながら周辺地域の人々とともに、地域に密着したユニークなまちづくりを進めてこられました。一方、地域内においても、住民の生活と福祉の向上をめざした取り組みを進めるために、北芝まちづくり協議会を結成。住民のつばやきに耳を傾け、自分たちの地域は自分たちの手で良くして行く、を合言葉に、様々な地



域組織を広げてこられました。

「誰もが安心して豊かに生活できるまちづくり」「住民参加のまちづくり」を進めるーそう信じてやって来られました。

① 依存型から自主的・自発的の活動へ

② 地域住民の閉鎖的傾向を、人と人とのつながりの中で解き放つ

③ 誰もが安心して、豊かに暮らせるまちづくり 北芝地区、萱野地区の人と人の関係づくり住民参加の



まちづくり これらをテーマに積極的に活動されてこれ私達もこれまでの取り組みの素晴らしさと結果を拝見して感動致しました。山田学区まちづくり協議会もこうした手法は大変参考になると信じたいません。当日参加の皆さん大変お疲れ様でした。今後の活動に役立てていきましよう。



# お一人暮らし高齢者 バスツアー開催

恒例のお一人暮らしの高  
齢者バスツアーが、本年度  
は、朝夕寒気の身に染みる

季節（平成二十五年十二月  
四日）になりましたが、一  
昨年と同じ場所、近江八幡

市の休暇村  
へ、バス定  
員一杯の参  
加者で、車  
中の賑やか  
なこと、車  
窓から見る  
湖岸の美し  
さはまた格  
別でありま  
した。琵琶  
湖の美しさ  
を改めて感  
じさせられ  
たもので  
す。そうこ  
うしている  
うちに、早  
や目的地に  
到着。皆さ



んのここ  
やかな顔  
皆それぞ  
れ食事の  
楽しみと  
思わんば  
かりに本  
当に楽し  
そうであ  
りました。  
仲間同士での愉快なおし  
やべりを楽しみながらの食  
事、そして風呂へ入ったり  
と、ゆつくりとしたひと時  
を楽しんでいただきました。

## 賛助会員紹介

今年も草津市社会福祉協  
議会賛助会員への募集をさ  
せていただきました。山田  
学区では、三十一社（名）  
の皆様からご協力をいただ  
きました。この会費は草津  
市社会福祉協議会の活動に  
有効に活用させていただきます。

また、社協役員による手品  
の披露もありまして来年の  
再会約束をして帰路につ  
きました。

- ここに、山田学区の賛助  
会員のみなさまをご紹介申  
し上げ、厚くお礼申し上げ  
ます（敬称略・順不同）
- ・(株)アヤシロ・(株)ナカイト
  - クノ・(有)横江製作所・横江
  - 板金塗装(株)・(株)光真製作所
  - ・(株)中嶋歯車工業所・藤田
  - 工務店(株)・福盛教材・浜口
  - 自転車店・オートカム・中
  - 野製薬製造(株)・園田瓦店
  - ・(株)久泉エンジニアリング
  - ・(有)馬場自動車・(有)馬場工
  - 務店・堀井歯科医院・(株)テ
  - クノオーミ・膳所木材工業
  - (株)・山一産業(株)・久保水道
  - ・西本電気工事(株)・久保産
  - 業(株)・(有)馬場建設・(有)久保
  - 電気・平井自動車工業(株)・
  - 佐山水道工業(株)・中川商店
  - ・すずか亭・TENSEISHIN
  - BIKAI 岡田茂吉研究所
  - ・木川宮農組合・丸萬寿司



# 地域サロンの紹介

## 出屋敷団地なごみ 会長 橋本 峯治

私達の住んでいる町内は、昭和四十年代に開発された新興団地で、歴史の浅い町内です。

なごみ会は平成十六年度の町内会長の発案でこれか



らの時代は高齢化が進み、老人の福祉が大切になる時代がやってくるものと考え、老人会の中でも充分に参加できない人及び少し身体が不自由な人で、歩行は

まだ出来る人等を集め、なごみ会を発足させました。

なごみ会の精神は、長年頑張って来られた先輩方に、これらの人生を、いかに楽しく、元気で過ごされるか、また、この町内に住んでよかったですと思っていただくための「幸福の笑顔で繋ぐなごみ会」を目標にしています。

### なごみ会「信条」

カ・感謝と感動を持つて  
キ・少しばかりの緊張をもつて

ク・健康と決断をもつて

コ・交流をもつて

の以上を例会の始めに全員で唱和しています。

活動については、いきいき百歳体操を毎週月曜日、一時から実施し、毎月一回以上例会を開催しています。

内容は、健康とスポーツ「グランドゴルフ」は春秋に大会、鑑賞は昨年映画鑑賞「少年日」戦争を生き抜いた名もなき家族の愛と真実の物語、プラネタリウム

探査機「ハヤブサの冒険」、日帰り旅行「信長の館、安土城考古博物館」見学と観賞、八幡掘るめぐりをしました。

例会は、自治会館にて、食事会・歓談会を実施しています。十一月はボランティア「よもやま座」を招き、マジックと歌謡ショーを観賞しました。

自治会館での食事会では、女性世話人の方々が、

おもてなしの心をもって必ず手作りの料理とデザートを提供していただいております。

現在会員数は三十名、世話人六名で活動しています。

## 安心のバトン

今年も安心のバトンの配布を行いました。「もしもの安心は冷蔵庫から」とPRしています。二十六年度も引き続き、安心のバトンの活動に取り組めます。バトンをご希望の方は、民生委員または社協の役員に声を掛けてください。

なお、高齢者緊急通報装置とセットで安心のバトンを準備いただくのが一番いい方策と考えます。すでに同装置を取り付けておられます方も、合わせて安心のバトンを準備くださると良いでしょう。



## 編集後記

ここ一、二年、新しい取り組みを始めることが出来るようになりました。去年から、自治連のご協力のもと、民生委員児童委員協議会と一緒に始めました「安心のバトン」の取り組み。山田21ふるさと健・幸推進委員会を中心としたウォーキングマップ作成業務。今年度からの「山田学区医療福祉を考える会議」と「山田の福祉を考える会」の誕生へと続いて来ました。これらは、学区の皆さんの福祉に対する理解と、自分たちで出来る協力は何かとの思いが広がっていつて大変頼もしいことです。ね。

もうすぐ春が来ます。菜の花が咲き誇っています。

